

阿部 和則 議員 … 1 件の一般質問

東陵中学校跡地の利活用



町長：利活用に向けて積極的に取り組んで行く

阿部 東陵中学校跡地の利活用について新聞報道では、町民に開放すると示されたが、これは老朽化を進ませないための暫定措置、応急措置的なものであると思っ

ている。この問題は、あくまでも校舎を使うという前提のもとに議論をするのではなく、校舎とグラウンドの一体開発、すなわち敷地面積4万2799㎡の町有地を有効活用する視点を持つべきだと考えている。

いまや本町全域に、土地需要が起きている状況だ。絶対的に不足しているリゾート地区の従業員アパートの建設を地価の安い市街地に建て始めたこと、あるいは同様に山田地区、スキー場地区、リゾート地区から事務所を移転する動きも目立ってきている。これとは別に、行政が用意しなければならぬ施設、住宅もある。

恒常的に不足している子育て世帯の低家賃住宅、雪の心配の要らない高齢者住宅、これなどはみずから建てるという考え

からPFIの導入をぜひ考えてもらいたい。そのほかにも新幹線、高速道路建設のための工場誘致や従業員宿舎の建設、東地域にない商業施設の誘致、道の駅構想のためのまとまった土地等々、進めなければならぬ計画がめじろ押しだ。

西の端にあるサン・スポーツランドの1万坪の町有地、東の端にある東陵中学校跡地の1万3000坪の町有地、この2つの開発こそが給食センター、保育所に続く町長の大きな仕事になると思う。

地方版総合戦略の柱は人口減少対策と地域の活性化。この2つの町有地の開発こそが、この事業の中心になる。第5次総合計画、あるいは俱知安町総合戦略と整合性をとりながらの町長にとって初めての予算編成ということ、ここはじっくり腰を据えて、この2つの町有地の活用に取り組んではいかかがか。

単に、旧東陵中学校の施設利用から町全体の発展のための位置づけが必要と考え、町長の見解を

伺う。

①きょうまでの進展状況。
②今後の計画（グラウンドと一体的な開発について）、どういう構想を持っているのか。
③仮に解体するとしたときの費用。

町長 ①旧東陵中学校については、閉校から2年半が経過するが、いまだ具体的な利活用方針が見出されていない。

これまでは児童生徒の部活動に限定をした校舎の開放をしてきたが、今後に向けて抜本的な後利用を考えたとき、少しでも多くの町民の方々に利用してもらい、施設に触れてもらう中から、新たな民間の発想での利活用策も提案してもらい、検討していきたい。

②特にグラウンドと一体的にということ、現時点では考えていない。今までもソフトボール大会の開催日に、練習場として貸し出していた。今後、ソフトボール大会の補助的なグラウンドとして使ってもらいたいと考えている。

③あくまでも現施設の有効利用を想定しているのではない。しかし、解体するとすれば、少なくとも1億円以上の規模になると想像している。

仮に解体するとなれば解体経費に加え、耐震化工事に係る国からの交付金の経過年数に応じた返



旧東陵中学校

還金が発生すると思われる。今後も貴重な財産の大きな活用に向けて積極的に取り組んでいきたい。